

極 秘
無 期 限
部 の 内 号

極 秘

大政事外外儀官 務務典房 次次 臣官官審審長長	
大外査特 使研審室	博代表
總總対文会厚情本 括審察人電在儀警史	
外報官	審報内 際外
領移	文長 一二
ア	審一二旅査移 審地中東 審北東西
北米長	審一二保
中南長	審一二
政長	審西ソ洋 西東
近ア長	審一二アア
経長	次參経漁途国 審総経エ国博 二ネ
	審海
経協長	審政国開無 參調技有理
条長	審条協規
国長	參政経人 參軍社
科審	科原
情調長	審情析調 審企安

□ □ □

總 番 号 R105011
年 月 01日 14時 05分 イ ラ ン 発 着
60年 08月 01日 20時 02分 本 省 着
主 管 近ア局長

外 務 大 臣 殿 田 辺 臨時代理大使

米国人人質解放問題（ヴェヤラテイ外相への特別メッセージ及び総理特使の派遣）

第1347号 極秘 大至急

〔限定配布〕

貴電近ア局長第610号及び同合第11021号に関し、

1日、本官はアハニ政務局長を往訪し、冒頭貴電に従い、本件メッセージの伝達依頼及び中山特使派遣の説明を行つたところ、先方発言次のとおり（ヨシハラ同行）。

1. 国際テロリズム
 - (1) 安倍外務大臣のメッセージは早速ヴェヤラテイ外相に伝達する。
 - (2) 国際テロリズムについては、ラフサンジャニ国会議長が日本において関係者との会談の際に、イランの明確な立場を表明したとおりであり、イランとしては、テロそのものとともに、その根源を非難すべきであると考える。
 - また、レバノンだけでなく、どこで行われるテロであつても非難すべきであり、仏や米國がラジャヴィのようなテロリストを支援していることをふまえ、ラ議長は日本がかかるテロをも非難されるよう要請した。
 - (3) 7人の米人入質の件については、われわれは如何なる係わりも否定する。
 - 他方、レバノン人民が如何に米國をけん悪しているかを指摘したい。

TWAハイジャックの解決のために、ラ議長が一定の(SOME)努力を行つたことは同議長が日本で述べたとおりであるが、乗客解放後4日以内にイスラエルにとらえられている700人を釈放するとの約束は果されていない。

いつたん釈放された300人も国境にてイスラエルにもどされてしまった。

米国のかかる約束違反をどう説明されるつもりなのか。

かかる約束不履行に対しレバノン人民が好意的に反応しないのは当然である。

(4) 安倍大臣のメッセージに対し、ザエ外相から、以上に述べたこと以外のコメントがあれば、日本側にお伝えする。

2. 中山特使

(1) 特使のイラン訪問について、自分としては前向きの見解を付して、上層部に報告したい。

なお、同特使はラ議長あての親書のみを携行されるとのことであるならば、ムサビ首相との会見手配は困難かも知れないが、御要望は関係者に伝達する。

(2) 特使の訪問を対外的に厳秘にすることについて異存はなく、むしろ従来の経緯から、日本側でプレスにもれることを懸念する。

万一、この訪問が、特に、人質問題及びイラン・イラク紛争等との関係で報道されることになれば、われわれとして(同訪問を)一切(CATEGORICALLY)否定せざるを得なくなろう。

この点くれぐれも念を押しておきたい。

(3) われわれとしては、この訪問はラ議長訪日のフォローアップと考えるのがよいと思う。

極秘

中山特使が如何なる問題を提起されても結構であるが、国際テロのみを強調されることは好ましくない。

これについてはラ議長自らイランの立場を既に明らかにしており、日本で述べた以上のことはないからである。

米に転電した。(了)